

第2回 公共施設のあい方検討市民ワーキング

～公共施設を見に行こう～
が開催されました

News Letter No. 2
長久手市総務部財政課

2017年9月24日(日)
9:00～12:00
【参加: 11人】



(本日の視察先)

老人憩の家さつき荘

農村環境改善センター

(車窓から)

市民野球場／市民テニスコート／
給食センター／長久手中学校

まちづくりセンター

長配三丁目集会所

松ヶ池体育館

西小校区共生ステーション

文化の家

まずは現場を知るべし!

公共施設のことを考える上で、現状を知ることとはとても大切なこと。第1回は市から公共施設の現状などについてレクチャーを受け、今回は市のバスに乗って、市内の様々な公共施設を実際に見て、参加したみなさんと意見交換を行いました。



憩の家は、どんな人が使っていて、誰が管理しているの？

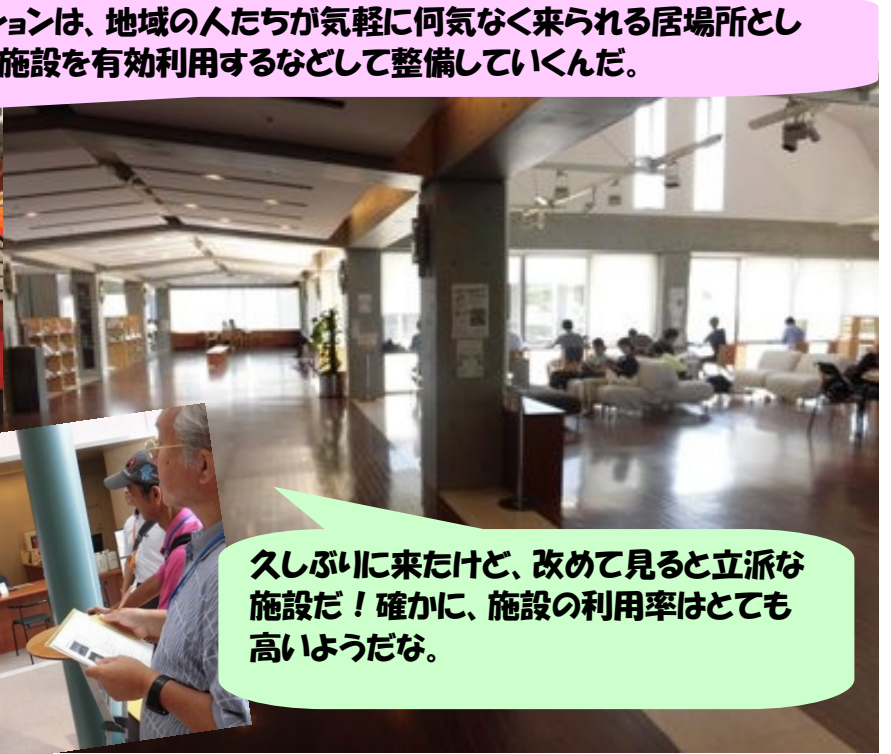
地域の高齢者が集う場として、シニアクラブが管理しているんだよ。

改善センターにははじめて来たけど、意外とたくさんの貸し部屋があるんだな。多目的室などは、結構利用されているみたいだ。

松ヶ池体育館ももう築30年が経過していて、少しずつ老朽化も目立ってきているんですよ。



地域共生ステーションは、地域の人たちが気軽に何気なく来られる居場所として、各校区にある施設を有効利用するなどして整備していくんだ。



文化の家は「ハレ」と「ケ」(非日常と日常)をテーマとして作られた、長久手市最大級の公共施設で、市内外の多くのみなさんが利用しています。



久しぶりに来たけど、改めて見ると立派な施設だ！確かに、施設の利用率はとても高いようだな。

今日、気づいたことをみんなで共有しました！



ワーキングファシリテーター
名古屋大学大学院
工学研究科 恒川 和久
准教授

なるほど、と思うような鋭い意見もたくさん出ましたね。前回、今回を踏まえて、次回から「具体的な重要課題」を抽出していきましょう！

- ★長年住んでいるが初めて訪れる施設もあった。昔から知っている施設もずいぶん古くなったという印象も。
- ★小規模施設は利用率が低く、規模が大きい施設は一定の利用率があるようだ。
- ★施設の整備に当たっては財源の問題も考えなくてはならないだろうから、公共でなく民間にできるものは民間に任せたり、ある程度集約化を図っていくことも重要だ。
- ★集会所は地域の担当者が鍵の管理をしているようなのでいつでも入れる訳ではなく、使い勝手に課題がある。
- ★今日回った中でもたくさん集会所があった。集会所はいつもは空いていないし大人数で集まるには狭く、駐車場もあまりない。老人憩の家はシニアの方しか利用できない。共生ステーションやまちづくりセンターのような施設のほうが、利便性が高そう。
- ★施設は点在しているよりも、集中していたほうが管理の面でも効率的。
- ★できるだけ新しい施設を作るのではなくリノベーションを。その際は、環境負荷に配慮し、CO2削減を。
- ★アクセスの点を考えれば、公共施設は一定の駐車場を確保するか、または、リニモなどの駅周辺に設置されるのが望ましい。
- ★これからは、民間にはできない真に公共が担うべき機能を考える必要がある。
- ★人口減少を見据え、施設を余計に作りすぎず、今あるものを有効活用すべき。
- ★全ての公共施設の空き状況を一括して検索、予約などできるような仕組みがあれば、利用率も上がるかも。

次回以降のワーキングのご案内

第3回 平成29年10月14日(土) 13:30~16:30 市役所西庁舎3階 研修室

第4回 平成29年11月11日(土) 13:30~16:30 まちづくりセンター2階 集会室1

第5回 平成29年11月26日(日) 13:30~16:30 まちづくりセンター2階 集会室1

※事前申込み不要。各回のみの参加も可能ですので、奮って御参加ください!!!